

第17回個性テーマ展示



DV

～ドメスティック・バイオレンスについて～

展示期間 3月1日～4月28日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー



生活の水面下で行われているドメスティック・バイオレンス（DV）。対象は、女性はもちろん、幼児、児童、老人などの弱い立場の者に及びます。虐待対象にストーカ―行為を行う場合もあり、多くは命に関わります。気づいていないけれど実は加害者・被害者だったりするかもしれません。今回は、DVについて少しでも知って貰えればと思います。



中野区立南台図書館

03-3380-2661



☆DV（ドメスティック・バイオレンス）とは？

DV（ドメスティック・バイオレンス）は夫婦、恋人、婚約者、同棲中のパートナー、元恋人、元夫婦などの親密な関係において、主に男性から女性（まれに女性から男性に行われる）に対して行われる暴力です。暴力には暴言や性的暴力も含まれます。DV加害者は、相手を自分の従属物のように扱い、意のままにコントロールしようとし、身体的、精神的、性的、経済的に苦痛を与える行為です。

男性の年齢や教育レベル、職業に関係なく起きています。どんな職業の人の中にもDVの加害者は存在し、多くは「いい人」と思われています。

☆DVの種類



①身体的暴力…殴る、蹴る、つねる、髪の毛をつかんで引きずり回す、棒で叩く、タバコの火を押し付けるなどの身体的暴力や、部屋の物を壊す、物を投げる、対象になる人の大事な物を壊す・捨てるなどの暴行。

②精神的暴力…「ばか」「誰のおかげで食べて行けるんだ」「人間のくず」「役立つはず」「お前はおれのいうことを聞いていればいい」「女は子供を生む道具だ」という差別的発言や態度、「別れると殺すぞ」「別れるなら自殺する」「離婚したら一生つきまとしてやる」という脅かし。不安や恐怖を与えようとする態度など、女性を明らかに劣位に扱う精神的暴力。

④経済的暴力…妻の労働を嫌がる、生活費を入れない、お金の使い道をチェックする。大きな買い物の決定権を渡さない等の支配的態度。

③性的暴力…女性の望まないセックスの強要、苦痛を与えるような性行為。女性の望まない妊娠や中絶の強要。

⑤社会的隔離…女性（対象者）が友人、実家と付き合うのを嫌がり妨害したり、外出、買い物制限などをする。電話のチェックや制限、手紙などの無断開封等。

☆二次被害とは？

被害者を支援する立場にある職務関係者が、DVに対して基本的な理解を欠いていたり、偏見を持っている為に被害者を傷つけてしまうことを「二次被害」といいます。（『知っていますか？ドメスティック・バイオレンス』より）

被害者が相談を受ける時などに起きる状況のことで、思い切って相談に行っても「話を真剣に聞いて貰えなく、むしろ疑いの気持ちで聞かれている、信じて貰えない」というように、被害者である上に「職務関係者からも傷つけられる」という事態のことを指します。

DV防止法第23条には「職務関係者による配慮等」が謳われ、DV被害者を守る条例が盛り込まれています。職務関係者とは具体的に、相談機関の相談員、医者や警察官、検察官、弁護士、裁判官、家庭裁判所の捜査官や公証人、福祉事務所のケースワーカーなどが含まれます。（『知っていますか？ドメスティック・バイオレンス』より）

暴力を受けた被害者の心理状態

- 安心や自己尊重感を奪われ、自身がもてない。
- 自責感情が強い。
- うつ傾向にある。
- 子どものケアができなくなる。
- 孤独感、無力感が深い。



★夫や恋人からの暴力（殴られたり、蹴られたり、ひどい言葉をあびせられる）を受けた被害者の方が、傷つきながらも「逃げよう、もう一度自分を取り戻して人生をやり直そう」と決心し、実際に行動するのは本当に勇気がいることだと思います。

現実的な生活の金銭面の問題や住居、子どもの学校の事など、なかなか実際に行動に移す踏ん切りのつかない方も多いと想像できます。

まずは、「実際に暴力を受けていることの相談」から始めてはどうでしょうか。プロのカウンセラーへの相談がDVから逃れる第1歩になると思います。

★相談窓口関連情報★

・東京ウイメンズプラザ <http://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>
男女平等参画社会の実現に向けて都民と行政が協力して取り組む活動の拠点となっている。

【女性センター】電話：03-5467-2455
年末年始を除く毎日午前9時～午後9時まで（DV被害の相談は必要に応じて面接相談も行います。）

・東京都（福祉）子どもの虐待防止センター 03-5300-2990
平日 10:00～17:00 土曜日 10:00～15:00

・JUST 日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン（トラウマ全般の相談）
<http://www.just.or.jp/>

いじめや児童虐待、言葉による暴力、家族関係、人間関係などの様々な原因によるトラウマで、今現在生きづらさを感じて苦しんでいる人たちのためのサイト。

電話：03-5772-2171 月曜～土曜 13:00～17:00
木曜 13:00～17:00 18:00～21:00
日、祝祭日、年末年始は休み



『男が暴力をふるうのはなぜか
そのメカニズムと予防』

暴力を引き起こす男性性の論理を解りやすく分析し、その予防法を三段階で提案しています。さらに「暴力で誰が得をしているか」という問題について考えています。

ジェームズ・ギリガン著 大月書店 2011年2月



『虐待を生き抜いた少年—梅の木証言』

極限の家庭内暴力・学校や職場でのいじめを受け続けた少年は、どん底から野外でこつこつと学習を重ね這い上がり…。

信じがたいほどの虐待事件と、少年の心の葛藤と、深奥をリアルに描いた一冊です。

照山雄彦著 知玄舎 2013年4月



図書リスト



書名	著者	出版社	出版年
ドメスティック・バイオレンス 絶望のフチからの出発	道 あゆみ 監修	実業之日本社	2009年3月
ドメスティック・バイオレンス援助とは何か 援助者はどう考え、行動すべきか	鈴木隆文・麻鳥澄江 著	教育史料出版会	2008年2月
シェルターから考えるドメスティック・バイオレンス	かながわ女のスペースみずら 編	明石書店	2006年6月
Q&A DVってなに？	番 敦子・中山洋子・根本真美子 著	明石書店	2005年10月
DVはいま	高島克子 編著	ミネルヴァ書房	2013年2月
デートDV	遠藤智子 著	ベストセラーズ	2007年11月
知っていますか？ドメスティック・バイオレンス	日本DV防止・情報センター編著	解放出版社	2008年10月
ドメスティック・バイオレンス 被害者女性ケアマニュアル	山本八千代 著	医書出版部	2004年12月
ドメスティック・バイオレンス 150人の証言	原田恵理子・柴田弘子 編者	明石書店	2003年1月
ドメスティック・バイオレンス 新版	「夫（恋人）からの暴力」調査研究会 著	有斐閣	2002年2月
ストップ！デートDV	伊田広行 著	解放出版社	2011年11月
僕が妻を殴るなんて	吉広紀代子 著	青木書店	2001年6月
夫が妻に暴力をふるうとき	ニール・ジェイコブソン、ジョン・ゴットマン共著	講談社	1999年11月
不幸にする親	ダン・ニューハース 著	講談社	2012年7月
母を許せない娘、娘を愛せない母	巖岩秀章 著	ダイヤモンド社	2013年10月
虐待を生き抜いた少年	照山雄彦 著	星雲社	2013年4月
ストーカー・DV被害にあっていませんか？	馬場・沢田法律事務所 編	中央経済社	2011年3月
男が暴力をふるうのはなぜか	ジェームズ・ギリガン 著	大月書店	2011年2月
パパと怒り鬼 ～話してごらんだれかに～	グロー・ダーレ作	ひさかたチャイルド	2011年8月
講座 子供虐待への新たなケア	杉山登志郎 編著	学研教育出版	2013年9月
いっしょに考える子ども虐待	川崎二三彦 編著	明石書店	2008年12月
家族が高齢者を虐待してしまうとき	加藤伸司・矢吹知之 著	ワールドプランニング	2012年9月
性犯罪報道	読売新聞大阪本社 社会部 編著	中央公論者	2013年6月
弁護士に聞きたい！ストーカー・DV問題 Q&A	馬場・沢田法律事務	中央経済社	2010年7月

ドメスティック・バイオレンス（DV）について

1. 情報検索のキーワード

ドメスティック・バイオレンス(DV)の情報を得るための幾つかのキーワードがあります。これらをインターネット検索で使うことにより、より効率的な調べ方ができます。

DV、ドメスティック・バイオレンス、ジェンダーバイオレンス、デートDV、DVシェルター、バタラー（加害者）、言葉の暴力、DV防止法、全国女性シェルターネット、家庭内暴力、パープルリボン

2. 基本的な情報を調べる

【用語を調べる】

- ◆世界大百科事典 平凡社 2007年（百科便覧のみ2009年） 031 セ 1～34
- ◆現代用語の基礎知識2012 自由国民社 2012年 031 ゲ 12
- ◆介護福祉用語辞典 住居広士代表編 ミネルヴァ書房 2009年 369.0 カ
すべて南台図書館に所蔵があります

【テーマの棚を調べる】

分野	分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号
刑法史	326.2	男女同権	369.4	児童福祉	369.4

* 中野区の人権に関する資料は、個性展示棚、3門棚（南台図書館）にあります。

【ドメスティック・バイオレンスに関する図書を調べる】

中野区立図書館ホームページの蔵書検索を使って調べる

→<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index6.html>

（中野区未所蔵の場合） 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

→<http://metro.tokyo.opac.jp>

【雑誌・新聞を探す】

- * 原紙（朝日・毎日・読売・産経・東京・日経）→南台図書館1階新聞コーナーにあります。
- * 毎日新聞縮刷版→南台図書館2階大型本コーナーにあります。

3. 相談窓口

- ・中野男女共同参画センター

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/danjo/index.html>

『配偶者からの暴力被害者支援情報』をクリック。⇒『相談機関一覧』から各種相談窓口を参照できます。

- ・南中野地域事務室 中野区南台 3-6-17 電話：03-3382-1457

Fax：03-3382-1466

Email：minaminakano@city-tokyo-nakanno.lg.jp

受付窓口時間 午前8時30分～午後5時

休業日 土・日・祝日および振替休日、年末年始（12/29～1/3）

- ・東部地域事務室 中野区中央 2-18-21 電話：03-3363-0752

Fax：03-3363-0761

Email：tobu@city.tokyo-nakano.lg.jp

受付窓口時間 午前8時30分～午後5時

休業日 土・日・祝日および振替休日、年末年始（12/29～1/3）

- ・東京女性相談センター 電話 03-5261-3110

月曜日から金曜日の午前9時から午後8時（祝日・年末始を除く）

<警視庁総合相談センター>

電話 03-3501-0110

または #9110

月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分（祝日・年末年始を除く）

※原則、東京都に在住、在勤、在学の方を対象にしています。

危険が迫っている場合及び上記時間外

警察(事件発生時)110番

お住まいの都内区市町村の相談窓口でも受け付けています。

[区市町村の配偶者暴力相談窓口\(福祉事務所等一覧\)](#)

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikatsu/shisetsu/fukushi.html>

中野区立南台図書館

2014年3月1日

南台図書館からの お知らせ

☆小さい子向けお話会 ☆

日時：第3土曜日 午前11時～11時30分

会場：南台図書館1階 親子読書コーナー

対象：0～3歳児とその保護者

定員：20名



☆幼稚園・小学生向けお話会☆

日時：毎週土曜日 午後3時～3時30分

会場：南台図書館1階 親子読書コーナー

対象：小学校低学年くらいまで

定員：20名



どちらも申し込みは不要です。
直接会場までお越し下さい。

